

福地温泉 森をひらくプロジェクト 樹木医による危険木と樹種の特定

結果報告

2023.10.29

高山市奥飛騨温泉郷福地温泉

新岐阜興業株式会社

実施内容と結果

- ▶ 日時 2023.10.29(日)9:00~12:00
- ▶ 参加者 8名(樹木医(株)門造園土木 松井社長、プロジェクトメンバー6名、外部関係者1名)
- ▶ 目的 倒木の危険のある危険木の特定と地形や植生に合わせたフィールド整備を行うための基礎的な調査
- ▶ 内容 危険木と樹種の特定、地形と樹種の関連
- ▶ 結果
 - ・危険木20本程度・・・下の樹皮が動物などでめくれ養分が行き渡らない状態(杉の木が多い)
 苔が生えている状態→下部で伐採の方向、キノコが生えない倒木は撤去
 - ・樹種・・・日当たりが悪いところは杉を中心に20本程度(下はオニシダが茂っている)
 日当たりが良いところはブナ、カエデ、モミジ、桑を中心とした広葉樹が30本程度(下はクマザサが茂っている)
 - ・危険木及び代表的な樹種については札付けを行った
 - ・調査結果はフィールドマップに反映
- ▶ 所見
 - ・危険木の伐採により日当たりが良くなり、地形に合わせた木々が育つようになる。また、シダも適度な量になっていく。
 - ・コンパクトな地形の中で針葉樹から広葉樹まで種類が豊富
 - ・樹齢40年程度の比較的若い木々が多く、日当たりが良くなるとまだまだ育つ。
 - ・カエデの種類が多い。
- ◆ 人が少し手を入れて(危険木の伐採)、後は自然に任せると木々が育ち良い森になっていく。
- ◆ 樹木医の松井社長はランドスケープアーキテクトの資格も有しており、今後の整備も協同していきたい。

